

論壇

子どもは支えられて育つ

これから卒園、卒業する子どもたちの保護者と私自身に伝えたいことがある。子どもは、あつという間に大きくなっていくように思うかもしれない。しかし、実は、生まれた時の脳は約400gほどしかなくて、5歳になるまでに約1300gになり、14〜20年間かけて発達しゆつくり育つといわれている。たくさん情報、生きていくすべなどを習得していかないといけないので、保護者の関わり



ウィンフィールド
ひろみ

卒園・卒業に向けて

だけでは育たないことは科学的に証明され、また、昨今では、孤立、孤独で育児することは親子にとっても難しいことが分かってきた。

「村全体で子どもを育てる」というアフリカのことわざにあるように子どもは、社会全体で見守り、保護し、育てる土壌が必要だ。お互いさまの精神で「ありがとう」をたくさん周りに言いながら、感謝して子育てをすると大変そうない子育ても楽になる。また、子どもたちにも周りに感謝できる感性を育ててほしい。

日本語の「おかげさまで」という言葉は、とても周りを幸せにするキーワードだ。先進国に仲間入

りした日本は、いろんな課題はありつつも、他国に比較すると人的だけではなく、環境、自然、教育などに恵まれ、支えられて発達が保障されていることを子どもたちには伝えてほしい。

残念なことに日本の10代の死因のトップは、自殺だ。先進国38カ国のうち精神的幸福度は、なんと37位。原因は、定かではないが、何らかの「生きづらさ」を感じているようだ。衣食住は満たされているが、家庭や教育機関に帰属意識が低いと生活に満足している割合が低いとの指摘もある。

ある番組で仕事も順調そうな20代の男性芸能人が、しきりに「自

分はここにいていいのか？ 自分の居場所はあるのか」と自問自答していると言って泣いていたのを見た。そんな「生きづらさ」を感じているように思えない彼だったが、若者の声を代弁しようだった。

人生の醍醐味は「人生を謳歌することにあるはずだ。世界中で紛争、戦争で苦しんでいる人々がいる中で「戦争をしない」と決めた憲法9条のある国で、10代の若者が苦しんでいるのは否めない。フィンランドが6年連続で「世界幸福度ランキング」の1位で、理由の一つは、国における社会的信頼の高さかもしれないとされている。「生きづらくなつた時、何かあった時には誰かが助けてくれる」ということを子どもたちに伝えたい。（浦添市、保育園園長、59歳）